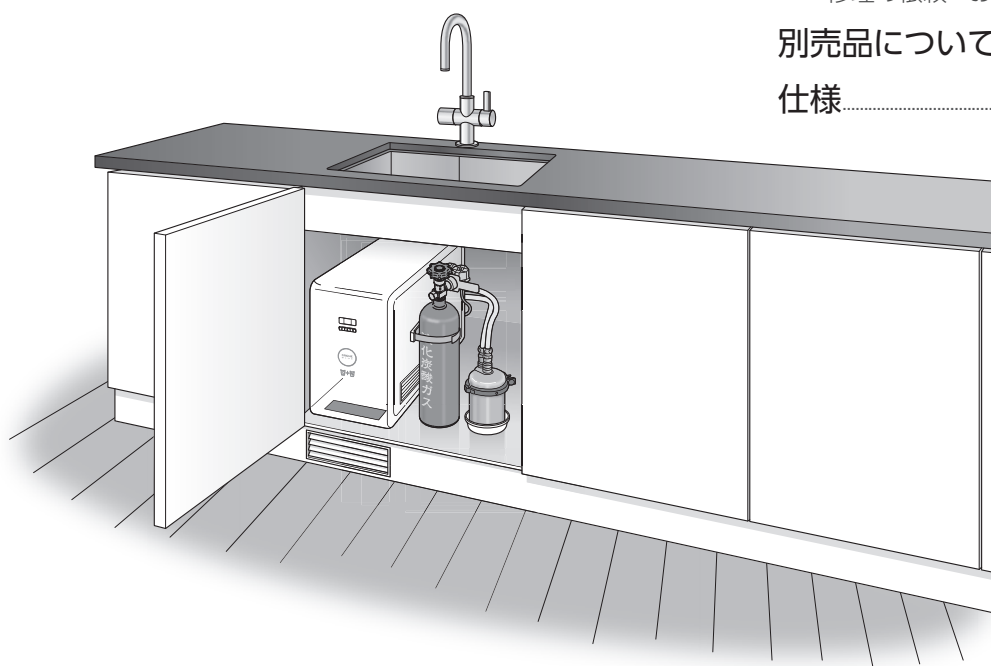


## グローエブルー C & S 炭酸冷水機

### 取扱説明書／保証書

品番 31 398 00J (混合栓)  
31 499 00J (単水栓)

安全上の注意	2
使用上の注意	3
各部の名称と働き	4
はじめてお使いになるときは	6
ガスボンベの取り付け	6
浄水器のクリーニング	7
冷水機の設定	11
LED ランプの点滅について (混合栓のみ)	12
ご使用前に	12
使い方	13
お手入れ	14
吐水口のお手入れ	14
ガスボンベの交換	14
浄水器のクリーニング	14
浄水カートリッジの交換	15
こんなときは	20
アフターサービスについて	22
修理を依頼される時	22
修理の依頼・お問い合わせは	22
別売品について	22
仕様	23



- ・本製品はこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
- ・取扱説明書および保証書は大切に保管し、必要なときにご利用ください。
- ・ご使用前に必ず「安全上のご注意」をお読みください。

# 安全上の注意

ご使用前にこの「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

## 〈表示の説明〉



**警告**

この指示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意**

この指示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生する可能性があることを示しています。



してはいけない「禁止」内容です。



実行しなければいけない「指示」内容です。

図の中や近傍に具体的な指示／禁止内容が表記されています。



**警告**

## ■ 電源コード・電源プラグについて



コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100V 以外での使用はしない。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



電源プラグは、根元まで確実に差し込む。不完全な差し込みのまま使用を続けると、感電・火災の原因になります。



電源コードを傷つけない。

加工する、熱器具に近づける、ねじる、束ねる、引っ張る、無理に曲げる、重いものを載せる、挟み込むなどはしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持つ。電源コードや電源プラグの破損の原因になります。



ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない。感電の原因になります。

ぬれ手禁止

## ■ 製品の取り扱いについて



分解禁止

分解・修理・改造をしない。感電・ケガ・故障の原因になります。



二酸化炭素ボンベは高圧ガスのため、以下の点に気をつけて取り扱う。



二酸化炭素ガスは吸引しないよう注意する。窒息の危険があります。

- ボンベのバルブは静かに開閉する。
- 地震や物が当たったときに転倒ないように設置する。
- バルブが損傷しないように粗暴に取り扱わない。
- ボンベの周囲温度は40℃以下に保つ。
- レギュレータを取り付けるときは、ガスが漏れていないことを確認する。



子どもが本製品で遊ばないよう注意する。



**注意**

## ■ 製品の取り扱いについて



プラグを抜く

再設定、保守・点検を行うときは、電源プラグを抜く。破損・漏水の原因になります。



浄水カートリッジは定期的に交換する。ろ過能力の限界を超えたカートリッジをそのまま使用すると、飲用に適さない水が流出することがあります。



**設置時やカートリッジ交換時、および毎日 1 回は放水する。**

雑菌や異臭発生など、飲料水に適さない水が流出することがあります。



**浄水カートリッジを交換するときなどは、ホースを正しく接続する。**

浄水できなかつたり、漏水の原因になります。



**浄水カートリッジを交換した当日は、就寝前に本製品周辺から漏水がないか再確認する。**

一般的に夜間は昼間より水圧が高くなり、接続部の不十分な締め付けや緩み等による漏水の危険が高まります。



**水を止めるときは、ゆっくりとハンドルを操作する。**

急閉止は漏水の原因になります。



**水栓の首振りにはゆっくりとおこなう。**

衝突で家具が破損する恐れがあります。



**水圧の高いところでは、止水栓を絞って使う。**

水圧が高いと、破損したり、水漏れの原因になります。



**年に 1 度、配管回りや接続部を点検する。**

部品の劣化や摩耗などが発見できず、漏水の原因になります。



**飲用の水質基準に適した水を使う。**

体調を損なう恐れがあります。



**水栓や浄水器(カートリッジ)を凍結させない。**

凍結すると、漏水の原因になります。窓を閉め、浄水器を布等で包むなど、保温をしてください。



**温水は使用しない。**

35℃以上の温水を冷水機や浄水器に通すと、浄水ができなくなり、体調を害する恐れがあります。



**浄水を汲み置きして使用しない。**

水道水中の殺菌用塩素が除去されているため、雑菌が繁殖しやすくなっています。



**浄水を養魚用などに使用しない。**

水質条件、カートリッジの劣化などにより殺菌用塩素が十分に除去されていない水が流出する場合があります。



**熱源を近づけたり、薬品、洗剤等を近くに保存しない。**

熱による変形、薬品や洗剤等による劣化で水漏れを起こす恐れがあります。



**ホースやチューブ、給水・給湯管を極端に曲げない。また折ったり、潰したりして設置しない。**

過度な水圧がかかったり、破損して漏水の原因になります。



**肉体的、感覚的もしくは精神的に低下している人(子どもを含む)は、冷水機、浄水器、ガスボンベに触れさせない。**

思わぬ事故の原因になります。



**器具に乗ったり、ぶら下がったり、寄りかかったりして無理な力を加えない。**

けがや漏水の原因になります。



**指定以外の器具を接続しない。**

異常動作して事故・漏水の原因になります。



**水栓のエアレーターを取り外したり、吐水口をふさいだり、水栓にホースを接続しない。**

破損したり、水漏れの原因になります。



**浄水器や冷水機、ホース・チューブ類に衝撃を与えない。**

破損して漏水の原因になります。

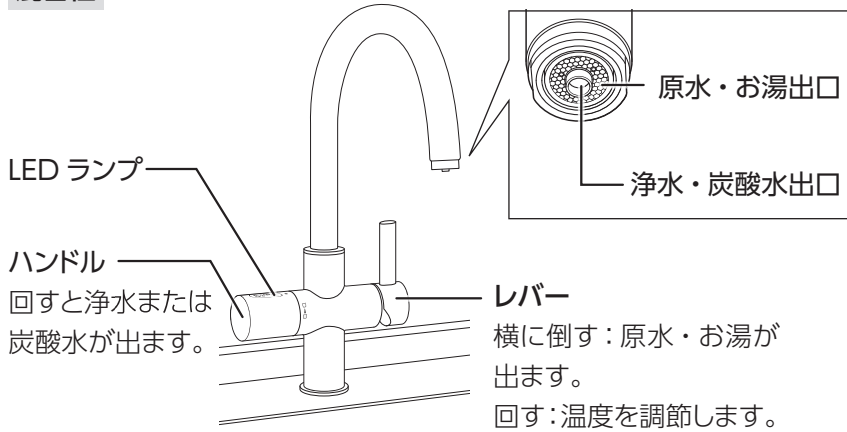
## 使用上の注意

- 浄水器や水栓のお手入れには専用のクリーニング剤を使用してください。
- 長期間使用すると、水栓の吐水部に汚れ(水あか等)が付着する場合があります。定期的にクリーニングをおこなってください。
- シンク下での物の出し入れの際には、浄水器に物が当たらないようご注意ください。また、ホースやチューブが物に挟まれたり、つぶされたりしないようご注意ください。
- 水に溶け込んでいる塩分(海水など)・金属イオン類は除去できません。また、硬水を軟水に変えることはできません。(浄水能力については、仕様をご参照ください)
- 浄水カートリッジ交換の目安は、使用水量、水質、水圧により異なります。  
※ 取り換え時期の目安は約 1 年です。お早めの交換をおすすめしますが、交換についてはご相談ください。
- 浄水カートリッジは分解しないでください。分解すると、再度組み立てることができません。

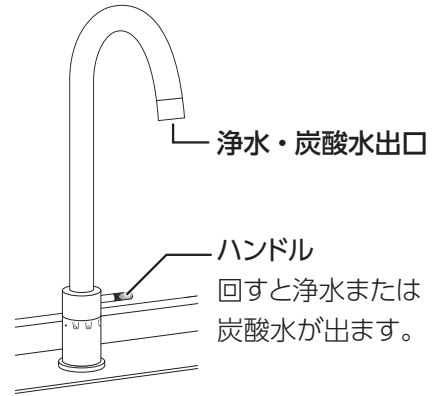
# 各部の名称と働き

**水栓 (2タイプあります)** →使い方は 13 ページを参照

**混合栓** 品番: 31 398 00J



**単水栓** 品番: 31 499 00J

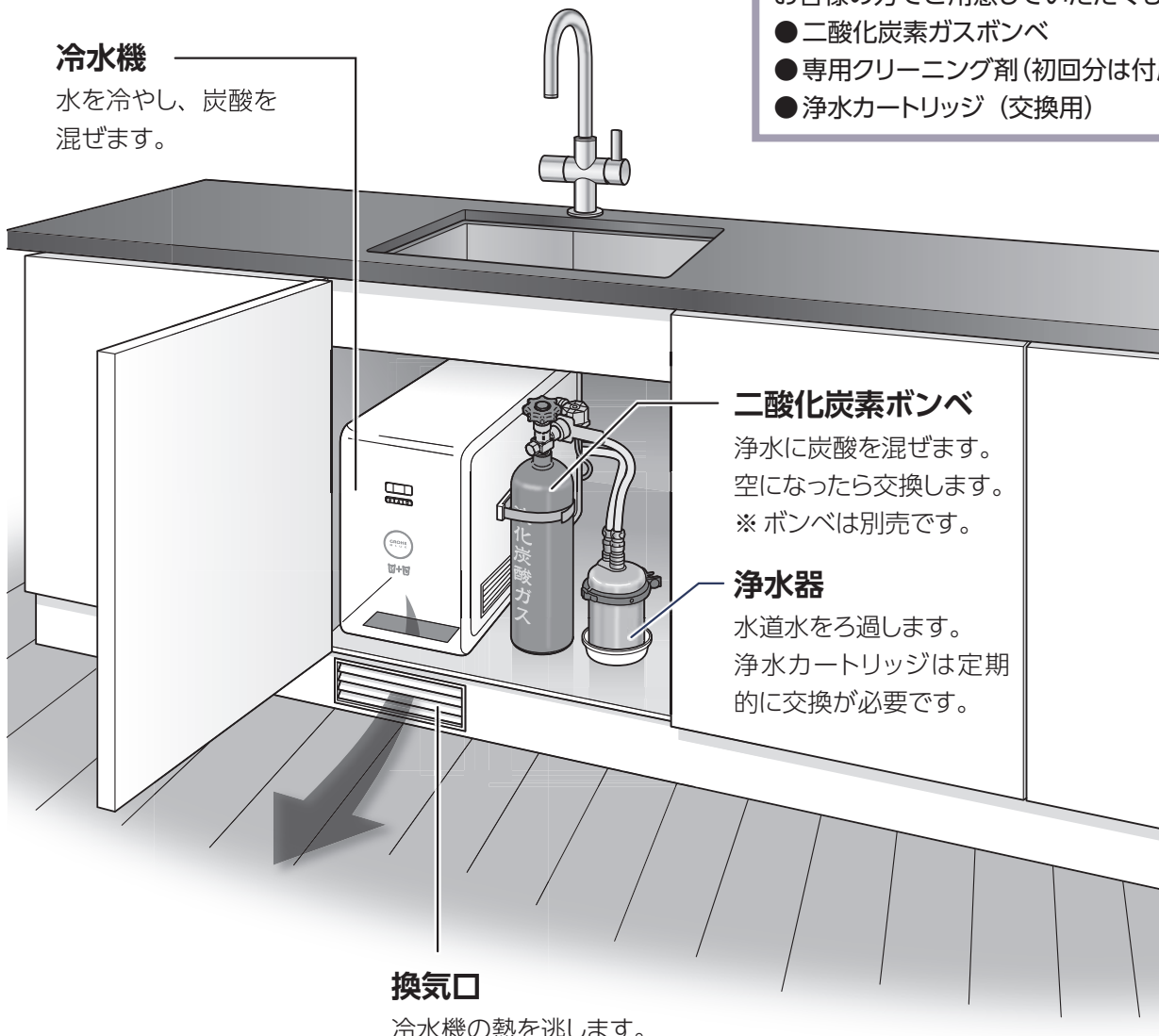


## 冷水機

水を冷やし、炭酸を混ぜます。

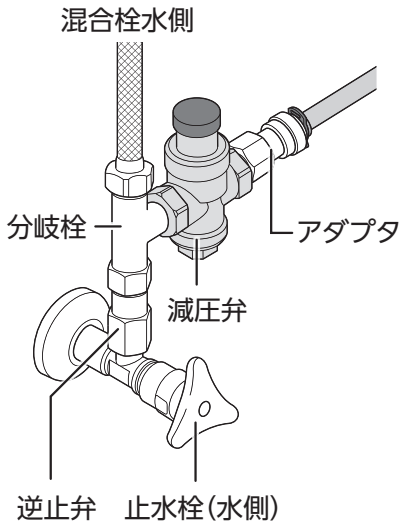
お客様の方でご用意していただくもの

- 二酸化炭素ガスボンベ
- 専用クリーニング剤 (初回分は付属)
- 浄水カートリッジ (交換用)



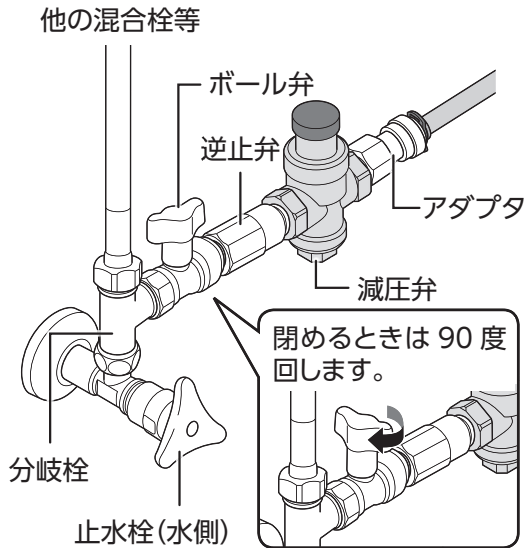
## 給水管との接続部 (シンク下)

### 混合栓の場合

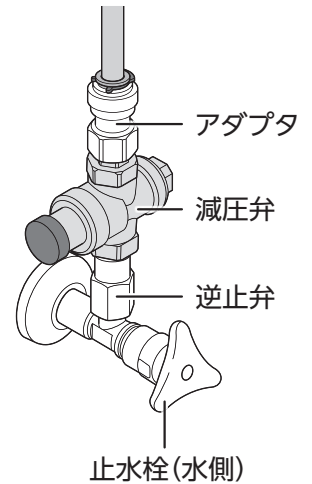


### 単水栓の場合

<分岐させている場合>

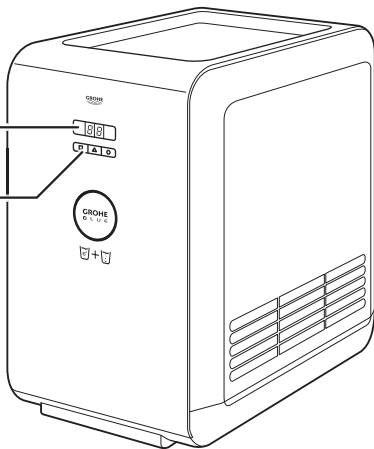


<単独でご使用の場合>

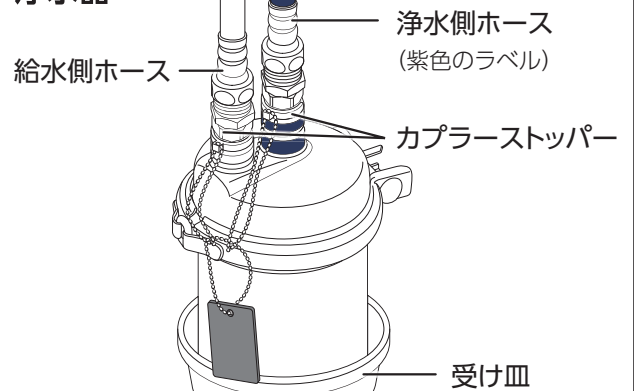


## 冷水機

ディスプレイ  
操作ボタン

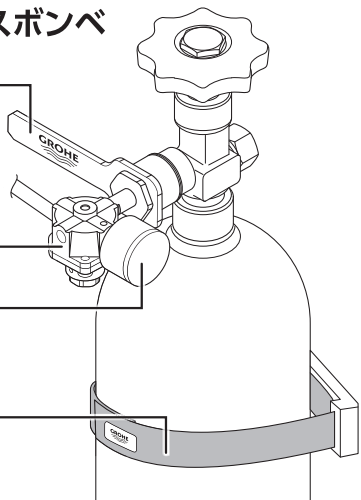


## 浄水器



## 二酸化炭素ガスボンベ

固定工具  
レギュレータ  
ガスメーター  
炭酸ガスの圧力  
および残りの有無。  
固定バンド



## 付属品

- 取扱説明書 (本書)
- 炭酸ガス申込はがき
- 据付説明書
- 炭酸ガス申込用 FAX 用紙
- クイックスタートガイド
- レシピ

## 別売品

- グローエブルー 浄水カートリッジ (交換用)
  - グローエブルー 専用クリーニング剤
  - 二酸化炭素ボンベ
- 詳しくは 22 ページをご参照ください。

# はじめてお使いになるときは

はじめてお使いになるときは、ご使用になる前に以下の準備をします。

## ガスボンベの取り付け

→ 6 ページ

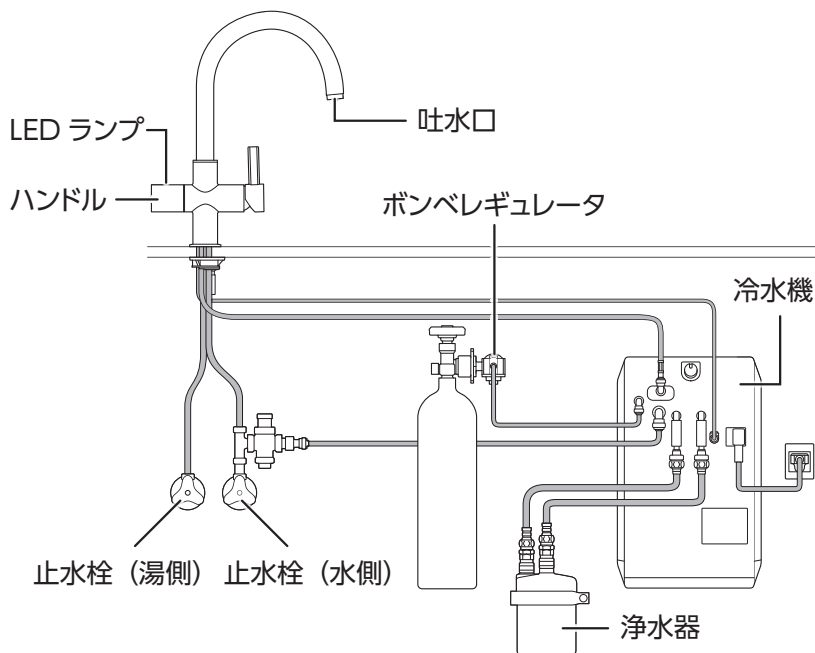
## 浄水器のクリーニング

→ 7 ページ\*

## 冷水機の設定

→ 11 ページ

※ 付属の「クイックスタートガイド」もご覧ください。



## ガスボンベの取り付け

ボンベレギュレータにガスボンベ (別売) を取り付けます。

ガスボンベは付属しませんので、別途ご用意ください (同梱の申込はがき、もしくは FAX にてご購入いただけます)。

### 1 ガスボンベに固定バンドを巻きつけて、冷水機に固定します。

物が当たったり、地震が起きたりしても倒れないように固定してください。

### 2 ガスボンベのバルブが閉まっていることを確認します。

### 3 ボンベレギュレータを取り付けます。

1 ガスボンベのシュリンク包装とキャップを外します。

2 ボンベレギュレータの取り付けねじを手で回してボンベに仮付けします。

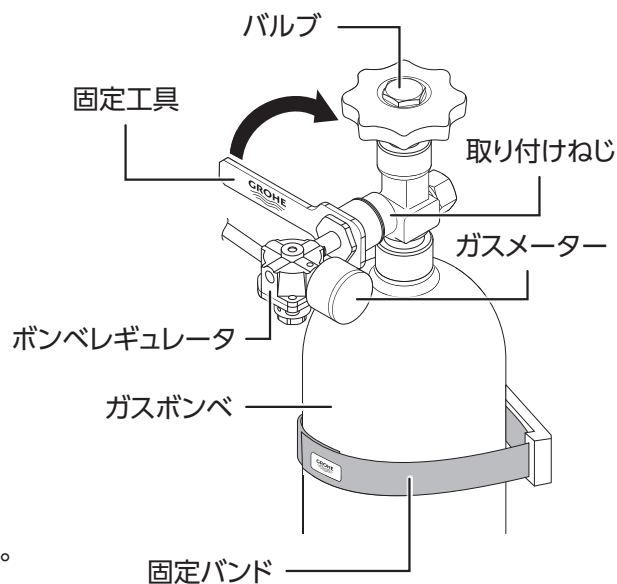
3 固定工具を矢印の方向に回して締め付けます。

### 4 以下の手順でガスが抜けていないことを確認します。

1 ガスボンベのバルブを開け、ガスメーターの圧力が上がっていることを確認します。

2 ボンベのバルブを閉じます。

この状態でガスメーターの圧力が下がってきたら、どこからか漏れていますので、もう一度接続し直します。





## 浄水器のクリーニング

はじめてお使いになるときや半年に一度おこなってください。

### クリーニング前の準備

以下の点を確認してください。

- 冷水機の電源コードがコンセントに接続されていること
- 浄水器にホースが正しく接続されていること

### クリーニングの手順

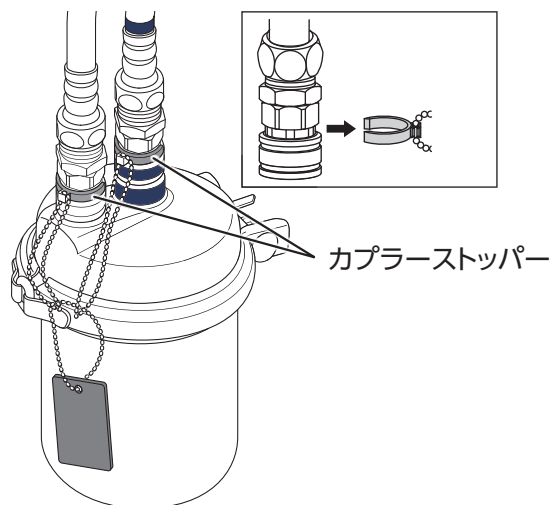
- 1** 止水栓(湯側・水側両方、ボールバルブがついている場合はそれでも可)とガスボンベのバルブを閉じます。
- 2** 水栓のハンドルをLEDランプが青色(浄水)になるまで回します。  
このとき、吐水口から水が出ていないことを確認してください。
- 3** 以下の手順で浄水器にクリーニング剤を入れます。

- 1** カプラーにセットされているカプラー止まりを取り外します。

#### ⚠ 注意

浄水器のホースを外す前に必ず水栓を全開にしてください。

ホースを外したときに、圧力により、水が勢い良く飛び出す恐れがあります。



- 2** 浄水器をバケツなどに入れ、接続されているホース(2本)を外します。

このとき、紫色シールが貼ってある方から先に取り外します。

ホースから水が飛び出すことがありますので、ご注意ください。

#### ⚠ 注意

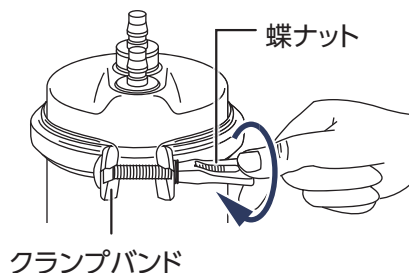
- ホースを外すときは、紫色のシールが貼ってある方から外してください。  
水が飛び出す恐れがあります。
- ホースのカプラーを外すときは、水が飛び出る恐れがありますので、バケツ等を用意してください。
- カプラーを外すときに勢いあまって手をぶつけたり可動部に指を挟まないようご注意ください。



# はじめてお使いになるときは (続き)

- 3** 浄水器ボディをシンクの中など水が漏れてもよい場所に移し、蝶ナットをゆるめてクランプバンドを取り外します。

浄水器の中に水が入っている場合は、捨ててください。



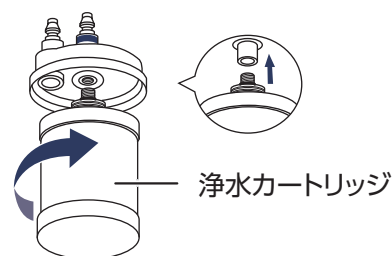
- 4** ふたを外し、浄水器の中にクリーニング剤 (別売) 1本 (300ml) をすべて注ぎます。

**お願い** クリーニングには必ず専用のクリーニング剤をお使いください。そのほかの洗剤等は絶対に使用しないでください。

- 5** ふたに浄水カートリッジ (付属) が装着されていない場合は、取り付けます。

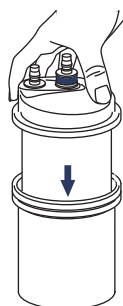
カートリッジ接続部 Oリングがキャップ内面に当たってから 90°程度締め付けてください。

- 浄水カートリッジはクリーニング後に取り付けても構いません。
- カートリッジねじ部の底部に Oリングが装着されていることを確認してから取り付けてください。
- 無理な力でねじ込むとねじ部が破損するおそれがありますので、ご注意ください。



- 6** 浄水器のふたをカートリッジごとクリーニング剤の入った浄水器に差し込み、ふたを閉じます。

クリーニング剤があふれた場合は拭いてください。



## 4 ふたを固定します。

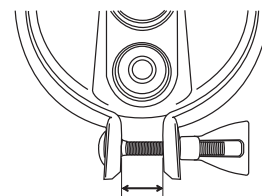
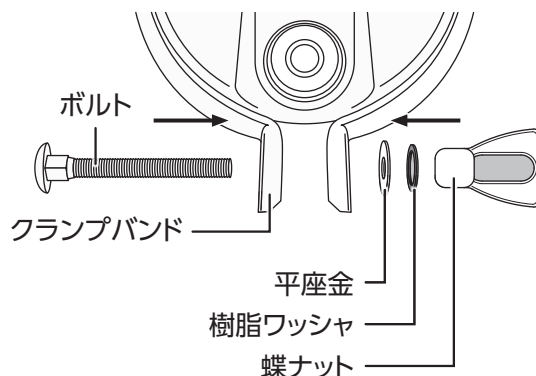
ふたとボディを正しくセットし、クランプバンドでしっかり固定します。

クランプバンドの切れ込みが入っている側に平座金、樹脂ワッシャ、蝶ナットをセットし、ボルトで固定します。セットの方向を間違えるとふたとボディが正しく固定できず、水漏れの原因となる場合があります。

このとき、欄外のスケールを目安に、クランプバンドの締め込み幅が 11 ~ 15mm となるように締め込んでください。

手で締めて 15mm 以下にならない場合、本体 Oリングが正しくセットされていない可能性がありますので、水漏れを起こすおそれがあります。

- クランプバンドを締め込む際、摩擦でクランプバンドや蝶ナットが傷つくおそれがありますが、必ず規定の締め込み幅まで締め込んでください。

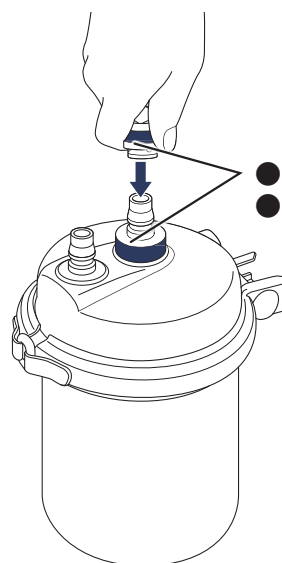


11 ~ 15mm



## 5 浄水器にホースを取り付けます。

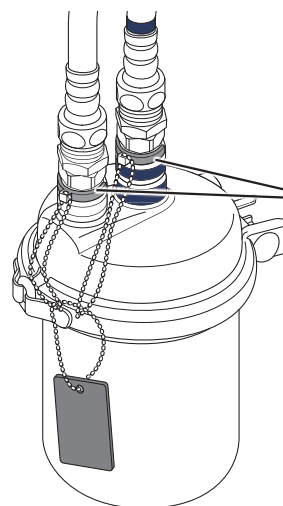
- 1 先に紫色のシールが貼られているホースを紫色の差し込み口に接続します。
- 2 もう一方のホースを接続します。



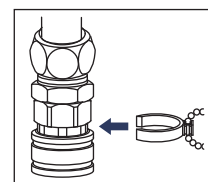
- 紫色同士を先に接続する。
- カプラーの先端を引き上げながら、カチッと音がするまで差し込む。

### 3 カプラーstopperを取り付けます。

このstopperは、カプラーが物に当たったときなどに可動部が動いて脱落し、漏水などが発生することを防止するためのものです。ご使用中は必ず設置してください。



カプラーstopper



### ⚠ 注意

- カプラーを取り付けるときは、ホースを逆に接続しないようご注意ください。  
逆にすると、カートリッジの寿命が大幅に短くなったり、異物が流出する恐れがあります。
- カプラーを取り付ける際は、可動部に指を挟むなどしないようご注意ください。
- カプラーを取り付けた後は、外れないか確認してください。その際は、必ずカプラー部分を持ってください（可動部分を持たないようにしてください）。  
ホースやその他の部分を持って引っ張ると、接続部の緩みや部品の破損により漏水する恐れがあります。

## 6 止水栓(またはボールバルブ)とガスボンベのバルブを開きます。 このとき、どこからも水が漏れていないことを確認します。

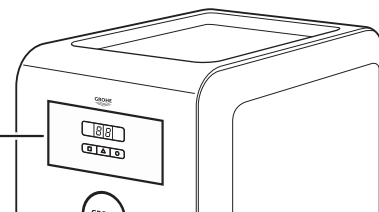
# はじめてお使いになるときは（続き）

## 7 以下の手順で冷水機のクリーニング手順を実施します。

### 1 止水栓（水側・湯側）を開けます。

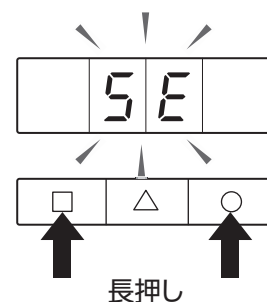
冷水機のディスプレイにエラー表示（E1～E9）がないことを確認します。

ディスプレイ/  
ボタン操作部



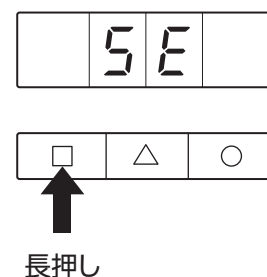
### 2 冷水機の□ボタンと○ボタンを同時に長押しします。

画面に「SE」が点滅表示します。



### 3 「SE」が点滅表示になるまで□ボタンを長押しします。

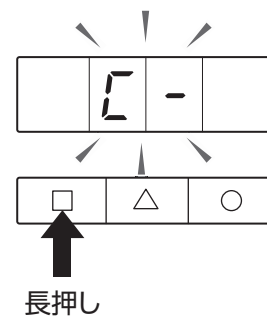
ボタンを離すと、「C-」が点滅表示します。



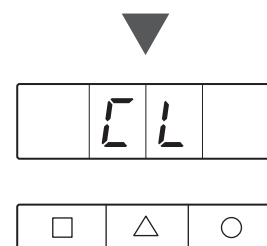
### 4 「C-」が点滅表示になるまで□ボタンを長押しします。

ボタンを離すと、「CL」が最大 20 秒間点灯し、クリーニングが開始されます。

クリーニングは最大 40 分間で終了します。



- クリーニング中はディスプレイに C1～9 までのモード移行が表示されます。途中で「E●」などのエラーが出ていないか、ときどき確認してください。



## 8 クリーニングが終了したら、ガスボンベのバルブを開けます。

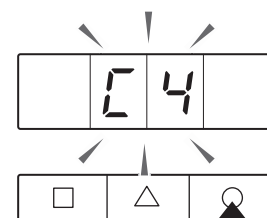
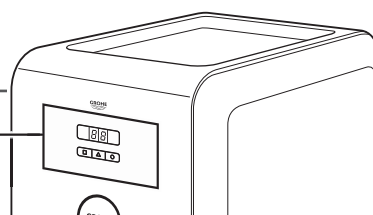
## 冷水機の設定

### 1 水のミネラル分による炭酸濃度を設定します。

※ 日本は C4 となります。

ディスプレイ/  
ボタン操作部

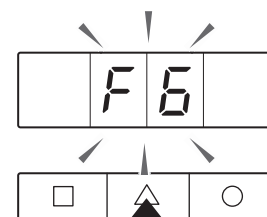
- 1 ○ ボタンを「C●」が点滅するまで長押しします。  
※ ●は数字が入ります。
- 2 ○ ボタンを「C4」と表示されるまで繰り返し押します。  
すでに「C4」になっている場合は、そのまま手順3に進みます。
- 3 「C4」と点滅表示されたら、○ ボタンを「C4」が点灯表示になるまで長押しします。



繰り返し押す

### 2 浄水カートリッジの能力設定をおこないます。 ※ グローエの浄水カートリッジは F6 となります。

- 1 △ ボタンを「F●」が点滅するまで長押しします。  
※ ●は数字が入ります。
- 2 △ ボタンを「F6」と表示されるまで繰り返し押します。
- 3 「F6」と点滅表示されたら、△ ボタンを「F6」が点灯表示になるまで長押しします。  
設定後に表示される数字は、浄水能力の残存 (%) の目安になります。「00」になる前に交換してください。



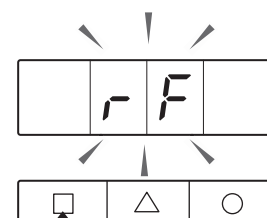
繰り返し押す



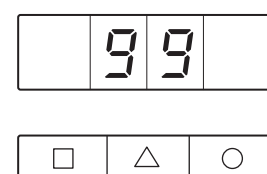
長押し

### 3 浄水カートリッジの残量カウンタをリセットします。

- 1 □ ボタンを「rF」が点滅するまで長押しします。
- 2 「rF」が点滅表示したら、再び「rF」が点灯表示になるまで □ ボタンを長押しします。  
ボタンから手を離すと、「99」と表示されます。  
これは、浄水カートリッジの残量の目安です。  
「00」に近づいたら、浄水カートリッジを交換してください。



長押し

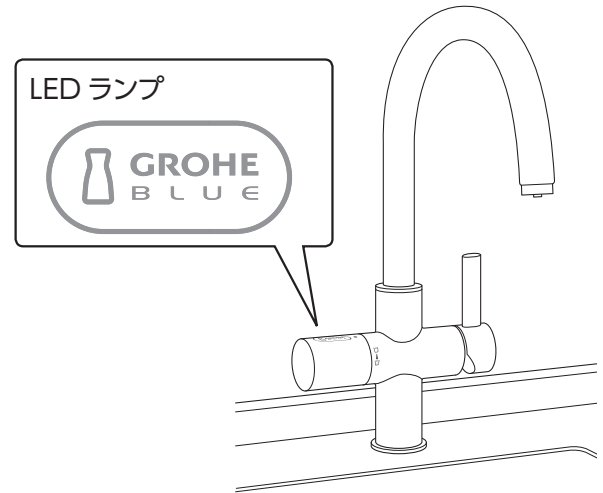


# LED ランプの点滅について（混合栓のみ）

浄水カートリッジの残量が少なくなったり、エラーが起こったときは、ハンドルの LED ランプが点滅してお知らせします。

## 浄水カートリッジの残量のお知らせ

LED ランプの状態	カートリッジ残量
使用中に点灯する。	10%以上
使用中にゆっくりと点滅する。	10%以下
使用中にすばやく点滅する。	1%以下
使っていないときもオレンジ色にすばやく点滅している。	なし



## エラーのお知らせ

赤色にゆっくりと点滅します。

冷水機のディスプレイに表示されているエラーコードをご確認ください。

→ 20 ページ「こんなときは」

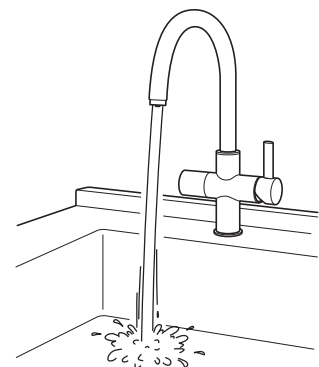
# ご使用前に

- ご使用前に以下の時間放水してください。

本製品を新たに設置したとき	2 分間（約 10 リットル）
カートリッジを交換したとき	
長時間（2 日間以上）使用しなかったとき	
毎日の使い始め	10 秒間（約 1 リットル）

施工時やカートリッジ交換時の 2 分間放水は、フィルター部のフラッシング洗浄のためです。

- 本製品を新たに設置したときや、カートリッジを交換したときは、2～3 日間浄水が微細な気泡により白濁することがあります。これは、内部の中空糸フィルターが水に馴染む過程で発生するもので、1～2 分間程度置くと気泡は消えます。なお、白濁した状態で飲料しても問題ありません。

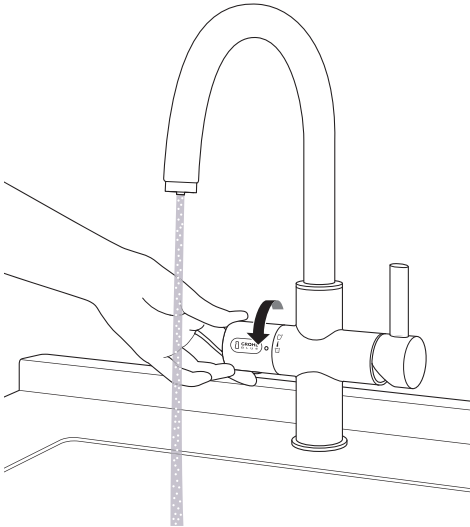


# 使い方

## 混合栓の場合 (品番: 31 398 00J)

浄水または炭酸水を出す。

ハンドルを回します。

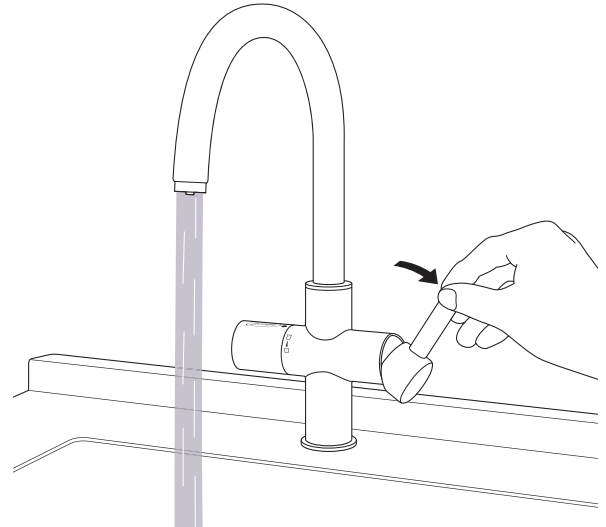


ハンドルの位置により3段階で水の出し方を調節できます。

ランプ表示	
消灯	止水
青	Chilled/ 浄水 (炭酸なし)
青緑	Medium/ 微炭酸
緑	Sparkling/ 強炭酸

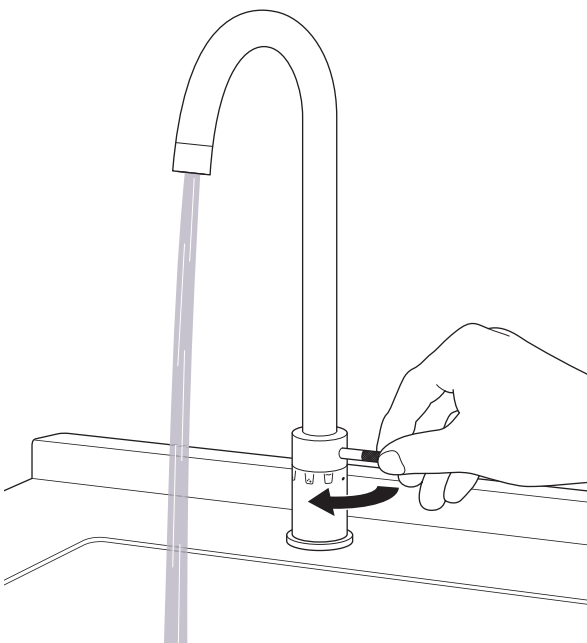
浄水されていない水またはお湯を出す。

レバーを横に倒します。



浄水されていない水またはお湯が出ます。  
レバーを前後に回すことで水温の調節ができます。

## 単水栓の場合 (品番: 31 499 00J)



レバーの位置により3段階で水の出し方を調節できます。

レバーの位置	
●	止水 (両側にあります)
	Chilled/ 浄水 (炭酸なし)
	Medium/ 微炭酸
	Sparkling/ 強炭酸

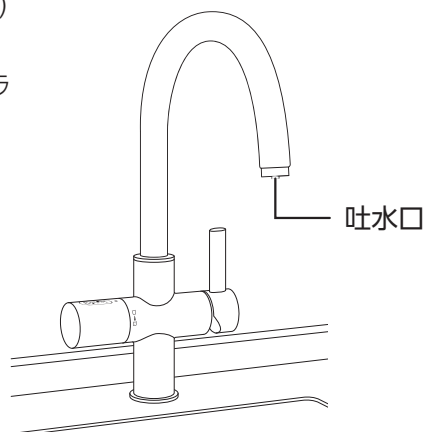
# お手入れ

## 吐水口のお手入れ

実施の目安：こまめに

浄水は殺菌用塩素を取り除いているため、水栓吐水口部に異物（藻類等）が付着する場合があります。

吐水口はこまめに清掃してください。また、清掃の際は必ず清潔なブラシ等をご使用ください。



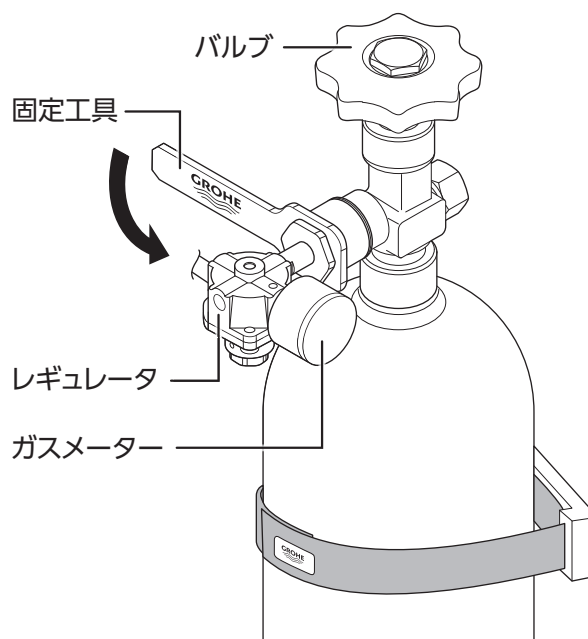
## ガスボンベの交換

実施の目安：なくなったら

炭酸ガスがなくなったらガスボンベを交換してください。

ガスの残り目安は、ガスメーターで確認できます。

- 1** ガスメーターのガス圧が下がっていることを確認します。
- 2** 念のため、ガスボンベのバルブを閉めてから、固定工具を矢印の方向に回してレギュレータを外します。  
ガスボンベの取り付け方法は、6 ページ「ガスボンベの取り付け」を参照してください。



## 浄水器のクリーニング

実施の目安：半年に一度

→ 7 ページ「浄水器のクリーニング」の手順でおこないます。

付属の「クイックスタートガイド」も合わせてご覧ください。

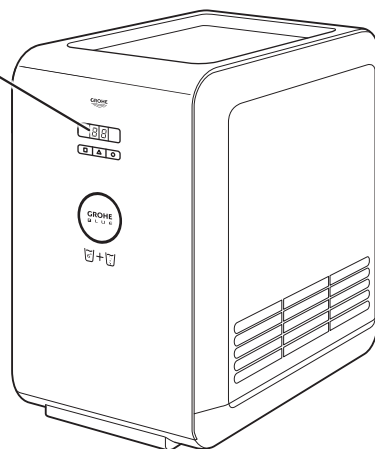


## 浄水カートリッジの交換

実施の目安：寿命が 0 に近づいたら

冷水機のディスプレイの浄水カートリッジの残量カウンタが「00」に近づいてきたら、浄水カートリッジを交換します。  
(配管等の状況により交換に工具が必要な場合があります)  
混合栓の場合、ハンドルのLEDランプがオレンジ色に点滅したら、交換時期です。

ディスプレイ



- 1** 止水栓(湯側・水側両方、ボールバルブがついている場合はそれでも可)とガスボンベのバルブを閉じます。
- 2** 水栓のハンドルをLEDランプが青色(浄水)になるまで回します。  
このとき、吐水口から水が出ていないことを確認してください。
- 3** 以下の手順で、浄水器からホースを外します。

- 1** カプラーにセットされているカプラーstopperを取り外します。

### ⚠ 注意

浄水器のホースを外す前に必ず水栓を全開にしてください。

ホースを外したときに、圧力により、水が勢い良く飛び出す恐れがあります。

- 2** 受け皿に水が溜まっている場合は、捨ててください。  
水を捨てた後は、元の位置に戻します。

- 3** 浄水器をバケツなどに入れ、接続されているホース(2本)を外します。

このとき、紫色シールが貼ってある方から先に取り外します。

ホースから水が飛び出すことがありますので、ご注意ください。

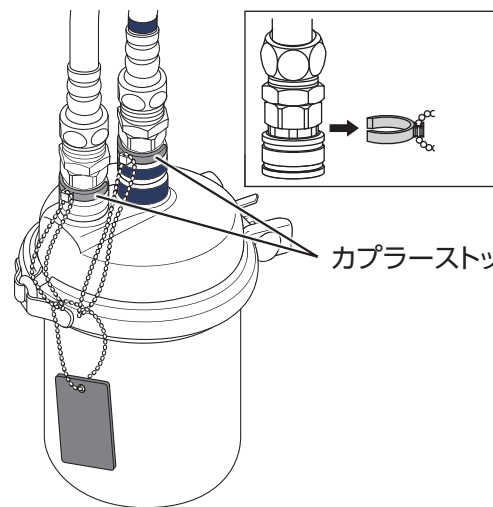
### ⚠ 注意

- ホースを外すときは、紫色のシールが貼ってある方から外してください。

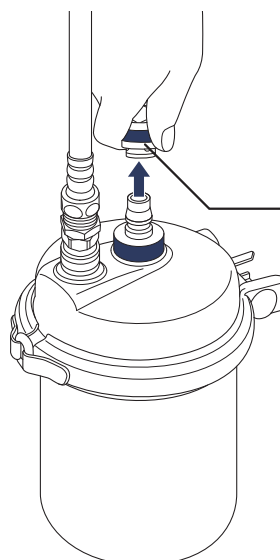
水が飛び出す恐れがあります。

- ホースのカプラーを外すときは、水が飛び出る恐れがありますので、バケツ等を用意してください。

- カプラーを外すときに勢いあまって手をぶつけたり可動部に指を挟まないようご注意ください。



カプラーstopper



- 紫色から先に外す。
- カプラー先端の可動部を引き上げながら、引っぱる。

# お手入れ（続き）

## 4 使用済みカートリッジを取り外します。

- 1 浄水器と受け皿を一緒にゆっくり持ち上げ、シンク内など水がこぼれてもよい平らな場所に移動します。

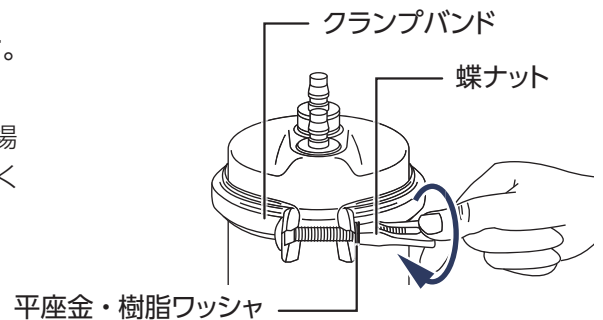
### ⚠ 注意

浄水器本体は、必ず平らな場所に移動させてから作業をおこなってください。  
不安定な場所で作業をすると、浄水器が倒れてケガの原因になります。

- 2 蝶ナットをゆるめ、クランプバンドを取り外します。

#### ● クランプバンドが外れにくい場合

蝶ナットを外してもクランプバンドが外れない場合は、ゴムハンマーなどでクランプバンドを軽くたたくと外れやすくなります。

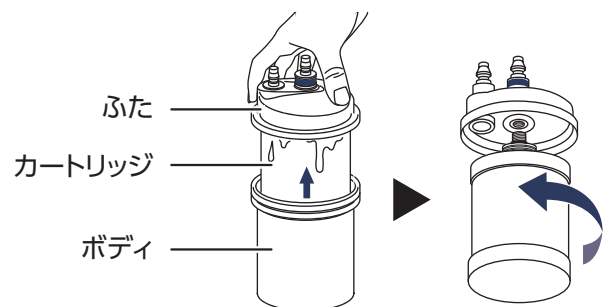


小さな部品をなくさないようご注意ください。

- 3 浄水器のふたを外し、使用済みカートリッジを反時計回りに回してふたから取り外します。

- 4 ボディ上部のOリングを取り外します。

取り外したカートリッジとOリングは、プラスチックごみとして各自治体の指示に従い廃棄してください。



- 5 浄水器と受け皿を洗浄し、水滴を拭き取ります。

### ⚠ 注意

浄水器の洗浄には以下のものを使用しないでください。

- ・酸性洗剤、塩素系漂白剤、アルカリ性洗剤
- ・シンナー、ベンジン等の溶剤
- ・クレンザー、磨き粉等、粒子を含んだ洗剤
- ・ナイロンたわし、たわし、ブラシ等

破損や漏水の原因になります。

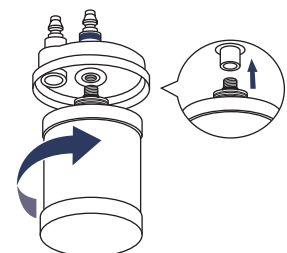
## 5 新しいカートリッジを取り付け、ボディに差し込みます。

- 1 新品カートリッジの透明の保護カバーを外します。

- 2 ふた内部の中央のねじ部にカートリッジを当て、時計回りに回してねじ込みます。

このとき、カートリッジ接続部のOリングがふたの内側に当たってから、90°程度締め付けてください。

※ 強く締め付けすぎると、ねじ部が破損する恐れがあります。

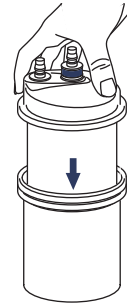


**3** 新品の本体 O リング（新品カートリッジと同梱）をボディ上部にしっかりはめ込みます。

**4** ふたをボディに差し込みます。

このとき、ふたを上から軽く押し、ふたとボディが正確にはまっていることを確認してください。

**お願い** カートリッジを取り付けたふたを持ち上げるときは、横にしないようご注意ください。ねじ部に無理な力がかかり、破損する恐れがあります。



**!** 注意

ふたを本体に取り付けるときは、ボディの上部に必ず新品の本体 O リングを取り付けてください。本体 O リングをはめずに取り付けると、漏水の恐れがあります。

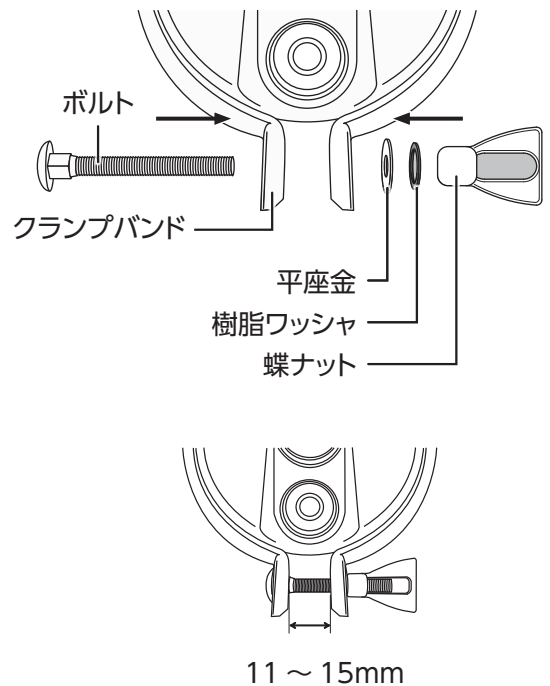
**6** ふたを固定します。

キャップとボディを正しくセットし、クランプバンドでしっかり固定します。

クランプバンドの切れ込みが入った側に平座金、樹脂ワッシャ、蝶ナットをセットしてください。セットの方向を間違えるとキャップとボディが正しく固定できず、水漏れの原因となる場合があります。

このとき、右欄外のスケールを目安に、クランプバンドの締め込み幅が 11 ~ 15mm となるように締め込んでください。手で締めて 15mm 以下にならない場合、本体 O リングが正しくセットされていない可能性がありますので、水漏れを起こすおそれがあります。

- クランプバンド締め込みの際、摩擦でクランプバンドや蝶ナットが傷つくおそれがありますが、必ず規定の締め込み幅まで締め込んでください。



**!** 注意

- ふたとボディをセットする際は、本体 O リングのズレやヨレが起こらないように注意し、クランプバンドを正しく固定してください。  
しっかり固定されていないと、漏水の原因となります。
- クランプバンドを着脱するときは、小さな部品（平座金など）をなくさないようご注意ください。また、小さなお子様が部品を口に入れないよう、十分にご注意ください。
- ふたやボディの表面には、傷が付かないように十分にご注意ください。  
錆の原因となり、破損して水漏れを起こすおそれがあります。

# お手入れ（続き）

## 7 浄水器と受け皿をシンク下に置きます。

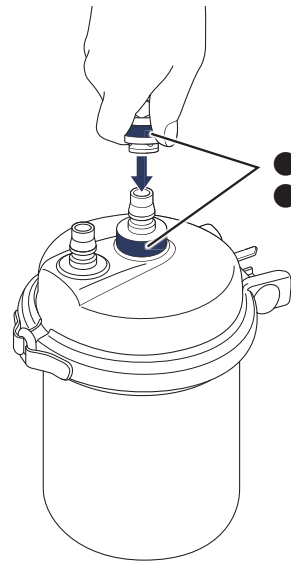
必ず受け皿と浄水器が安定する場所においてください。

不安定な場所に置くと、浄水器が傾き、各部品に無理な力がかかることによって故障や漏水の原因になります。

## 8 浄水器にホースを取り付けます。

1 先に紫色のシールが貼られているホースを青色の差し込み口に接続します。

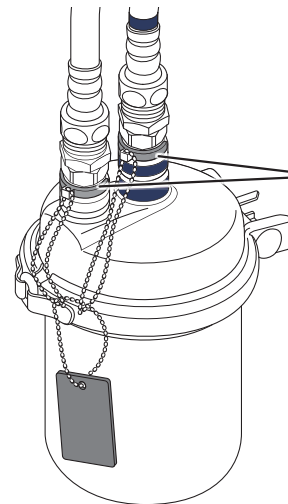
2 もう一方のホースを接続します。



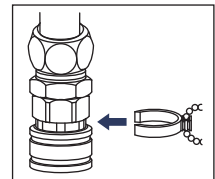
- 紫色同士を先に接続する。
- カプラーの先端を引き上げながら、カチッと音がするまで差し込む。

3 カプラーSTOPパーを取り付けます。

このSTOPパーは、カプラーが物に当たったときなどに可動部が動いて脱落し、漏水などが発生することを防止するためのものです。ご使用中は必ず設置してください。



カプラーSTOPパー

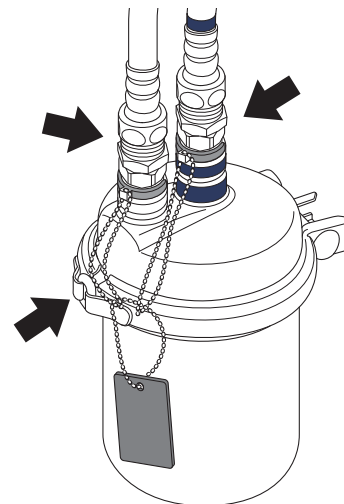


### ⚠ 注意

- カプラーを取り付けるときは、ホースを逆に接続しないようご注意ください。  
逆にすると、カートリッジの寿命が大幅に短くなったり、異物が流出する恐れがあります。
- カプラーを取り付ける際は、可動部に指を挟むなどしないようご注意ください。
- カプラーを取り付けた後は、外れないか確認してください。その際は、必ずカプラー部分を持ってください（可動部分を持たないようにしてください）。  
ホースやその他の部分を持って引っ張ると、接続部の緩みや部品の破損により漏水する恐れがあります。

## 9 水漏れ検査をします。

- 1 止水栓（またはボールバルブ）をゆっくりと全開します。
- 2 水栓から水が出たら、水栓のハンドルを閉じ、水を止めます。
- 3 浄水器のクランプバンド部やホースの接続部などから漏水がないか確認します。  
ティッシュペーパーを使用すると、わずかな漏れも確認できます。



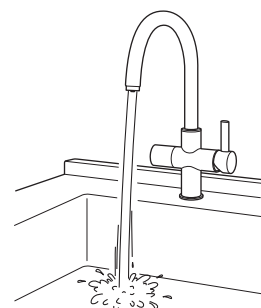
### ⚠ 注意

ホースにねじれや折れがないか確認してください。  
ねじれていたり、折れていたりすると、漏水や故障、流量低下の原因になります。

## 10 ガスボンベのバルブを開けます。

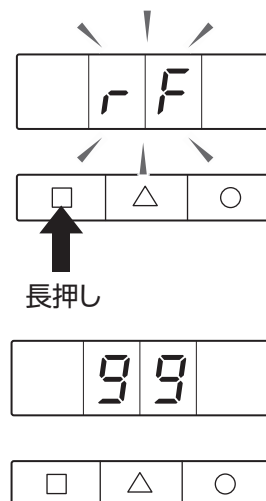
## 11 ハンドルをLEDランプが青色に点灯するまで回し、2分間(約10リットル)放水します。

浄水器設置後 2～3 日間は、浄水中に微細な気泡が発生して白濁することがあります。1～2 分程静置すると気泡は消えて透明になります。なお、このように白濁した状態でも飲料用に利用いただいて問題ありません。



## 12 冷水機のカートリッジ残量カウンタをリセットする。

- 1 □ ボタンを「rF」が点滅するまで長押しします。
- 2 「rF」が点滅表示したら、再び「rF」が点灯表示になるまで □ ボタンを長押しします。  
ボタンから手を離すと、「99」と表示されます。  
これは、浄水カートリッジの残量の目安です。  
「00」に近づいたら、浄水カートリッジを交換してください。



## 症状

冷水機の ディスプレイ表示	水の出	水栓の LED ランプ
—	水が出ない	—
E 1	浄水が出ない	赤色点滅
E 2	—	—
E 3	—	—
E 4	浄水が出ない	赤色点滅
E 5	浄水が出ない	赤色点滅
E 6	浄水が出ない	赤色点滅
E 7	浄水が出ない	—
E 8	—	オレンジ点滅
E 9 H 1	—	—
—	炭酸ガスが 入らない	—

## 原因

水の供給が中断されている。
水の供給が中断されている。 ポンプが遮断されている。
連続使用時間（4分30秒）を超過して 使用している。
水栓と冷水機が接続されていない。
接続ケーブルが故障している。
データ送信が不良になっている。
冷水機が故障している。
同期不良。
冷水機内が漏水している。
浄水カートリッジの交換時期。
クーラーが過熱している。
ガスポンベが空になっている。
ガスポンベの栓が開いていない。
ガスポンベとの接続が不完全。

上記手順で直らない場合は、グローバルサービス課にご連絡ください。



## 対策

	止水栓または水道元栓を開けます。
	浄水側のボールバルブを開け、冷水機の電源プラグをコンセントから抜き、30秒後に再び接続します。
	水栓のハンドルを閉じ、しばらくたってから、ハンドルを回します。
	水栓と冷水機の水栓電源端子を給電コードで接続します。(据付説明書 19 ページ参照) ※ プラグが破損している場合は、サービス課にご連絡ください。
	弊社サービス課にご連絡ください。
	以下の手順で同期を確認します。 ① 冷水機の□○ボタンを「SE」を点滅表示するまで同時に長押しする。 ② □ボタンを押して「SE」の点滅を止め、「C」を表示させる。 ③ △ボタンを押して、「C」を「H」に変える。 ④ □ボタンを「HC」が表示するまで長押しする。 ⑤ 水栓のハンドルの LED ランプが赤色から緑色に変わったら、すぐにハンドルを強炭酸の位置にし、LED ランプが点滅するまで待つ。 ⑥ LED ランプが点滅したら、ハンドルを止の位置にする。 以上の手順で冷水機のディスプレイにカートリッジ残量%が表示されれば成功です。
	冷水機の電源プラグをコンセントから抜いて約 1 分後、再接続します。 症状が直らない場合は、サービス課にご連絡ください。
	<b>E 4</b> エラーのときと同様の方法で同期を確認します。
	冷水機の電源プラグをコンセントから抜いて約 1 分後、再接続します。 症状が直らない場合は、サービス課にご連絡ください。
	浄水カートリッジを交換してください。(取扱説明書を参照)
	水栓を閉じ、冷水機の電源プラグをコンセントから抜きます。 冷水機の周囲を換気し、冷水機および周囲の温度が下がったら、約 30 分後に再接続します。
	ボンベを交換してください。(ボンベレギュレータのガスメーター圧力の有無を確認)
	ガスボンベのバルブを全開にしてください。(ボンベレギュレータのガスメーター圧力の有無を確認)
	冷水機背面およびボンベレギュレータの赤いチューブがしっかり接続されているか確認し、ボンベレギュレータのガスメーター圧力が下がらないことを確認します。

グローエジャパン株式会社 サービス課

TEL **0570-666-368**

FAX 03-5775-7611

< 受付時間 >

平日 9:30 ~ 17:30 (受付・お問い合わせ)

平日夜間・土・日・祝日 24 時間 (受付のみ)

# アフターサービスについて

## 修理を依頼されるとき

お求めの取扱店、または弊社サービス課に修理を依頼してください。

### <保証期間中は>

- ・修理に際しては、保証書をご提示ください。
- ・保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

### <保証期間が過ぎているときは>

修理により使用可能な製品については、希望により有料にて修理させていただきます。

### <修理料金は>

“技術料” + “出張料” + “部品代” で構成されています。

### <連絡していただきたい内容>

1. ご住所、ご氏名、電話番号
  2. 製品名
  3. 品番（保証書または品番一覧表）
  4. ご購入日
  5. 故障内容、異常の状況
  6. 訪問日
- ※ Web サイトでユーザー登録をしていただくと、保証期間が5年に延長できます。

## 修理の依頼・お問い合わせは

グローエジャパン株式会社 サービス課

TEL **0570-666-368**

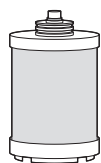
FAX 03-5775-7611

<受付時間>

平日 9:30 ~ 17:30 (受付・お問い合わせ)

平日夜間・土・日・祝日 24 時間 (漏水等緊急のご相談のみ)

## 別売品について



グローエブルー 浄水カートリッジ (交換用)

品番: JPK 20400

価格: ¥12,500 (税込)



グローエブルー 専用クリーニング剤

品番: JPK 54200

価格: ¥2,100 (税込)

クリーニングには必ず専用のクリーニング剤をお使いください。

そのほかの洗剤等は絶対に使用しないでください。

クリーニングは定期的 (3 ヶ月~半年に1回程度) におこなうことをおすすめします。



二酸化炭素ガスボンベ

<取扱業者>

近畿酸素株式会社

〒669-2312

兵庫県篠山市菅 155-1

TEL: 079-552-4288

FAX: 079-552-4266

価格: ¥15,000 (税込、送料込)

充填は約¥5,000

炭酸ガスボンベはお客様ご自身でご購入いただけます。

付属のはがき、もしくは FAX 用紙にてお申込みください。

※上記推奨業者以外からガスを購入されたり、充填される場合は、5年に一度点検費用が別途かかることがあります。ご自身のご負担となりますのでご注意ください。

# 仕様

## ■ 冷水機

品名	グローエブルー C&S 炭酸冷水機	
品番	混合栓 31 398 00J / 単水栓 31 499 00J	
供給電圧	100 V AC 50/60 Hz	
最大消費電力	270 W	
外形寸法 (mm)	幅 250 ×奥行 400 ×高さ 400	
外装	ABS 樹脂	
質量	約 20kg	
運転音	ポンプ運転音最大 50dBA	
冷却能力	12L/ 時間 (水温を 10℃下げるときの能力) 約 4 ~ 15℃ (周囲環境により異なります)	
タンク内貯水量	1.4L	
冷却	冷却器	コンプレッサー
	冷媒 / 封入量	R134a/0.09kg
保護	電気回路	連続使用 4 分 30 秒で遮断
	冷媒回路	連続使用 4 分 30 秒で遮断
	水回路	減圧弁、内部漏水センサー
使用条件	周囲温度	最高 32℃
	給水温度	最高 24℃
	湿度	75%以下
	給水圧力	0.1MPa ~ 0.74MPa 本体は減圧弁使用 0.3MPa (水栓 0.6MPa)

## ■ 浄水器

材料の種類	カートリッジ: ABS 樹脂 ハウジング部: ステンレス ホース部: ステンレス他	
ろ材の種類	活性炭・不織布・中空糸膜	
ろ過流量	5.0L / 分	
使用可能な最小動水圧	0.07MPa	
浄水能力	遊離残留塩素 濁り 総トリハロメタン クロロホルム プロモジクロロメタン ジブromクロロメタン プロモホルム テトラクロロエチレン トリクロロエチレン 1,1,1-トリクロロエタン CAT (農薬) 2-MIB (カビ臭) 溶解性鉛	(総ろ過水量 7500L 除去率 80% JIS S 3201 での試験結果) (総ろ過水量 7500L ろ過流量 50% JIS S 3201 での試験結果) (総ろ過水量 7500L 除去率 80% JIS S 3201 での試験結果) (総ろ過水量 7500L 除去率 80% JIS S 3201 での試験結果) (総ろ過水量 7500L 除去率 80% JIS S 3201 での試験結果) (総ろ過水量 7500L 除去率 80% JIS S 3201 での試験結果) (総ろ過水量 7500L 除去率 80% JIS S 3201 での試験結果) (総ろ過水量 7500L 除去率 80% JIS S 3201 での試験結果) (総ろ過水量 7500L 除去率 80% JIS S 3201 での試験結果) (総ろ過水量 7500L 除去率 80% JIS S 3201 での試験結果) (総ろ過水量 7500L 除去率 80% JIS S 3201 での試験結果) (総ろ過水量 7500L 除去率 80% JIS S 3201 での試験結果)
ろ材の交換時期の目安	1 ヵ年 (1 日あたりの) 使用水量 20L	
除去性能	鉄 (微粒子状)、アルミニウム (中性) 浄水器協会で定められた規格基準 (JWPAS) に従った試験方法により除去が確認された物質	

- 水勢の調節および器具の点検を容易にするために、別途止水栓の設置をおすすめします。
- 給水温度 (約 10℃~ 35℃程度) は、浄水器の使用条件または、冷水機が安定した温度、供給量が可能な範囲としてください。

# 保証書

製品名： グローエブルー C&S 炭酸冷水機

出荷日／検査日

品番： 混合栓 3139800J / 単水栓 3149900J

保証期間： 取付日 / ご購入日から2年

お客様	おなまえ：
	おところ：〒
取付店／販売店	〒
	電話 — —
取付日／ご購入日	年 月 日

- 取付店 / 販売店様へ：  
取り付け時に御社名を必ず記入し、お客様にお渡しください。
- お客様へ：
  - ・この保証書をお受け取りになるときに、取付日（またはご購入日）、取付店 / 販売店名、扱者印が記入してあるか確認してください。
  - ・保証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。
  - ・弊社推奨品以外の付属品や消耗品（炭酸ガス、浄水カートリッジなど）をご使用の場合、保証およびメンテナンスの対象外になりますのでご注意ください。
  - ・ご記入いただく保証書の個人情報につきましては保証期間内の無料修理対応およびその後の安全活動のために利用させていただきます。
  - ・弊社 WEB サイトでユーザー登録していただくと保証期間を 5 年に延長できます。

## 保証規定

1. 本製品の保証期間は、本製品のご購入日または出荷日／検査日から 2 年間です。
2. 取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合に限り、保証期間内であれば無償修理または交換いたします。
3. 以下の場合は、保証できません。
  - ① 取扱説明書等に記載された正しい使い方をしなかった場合の故障および損傷
  - ② 使用上の誤りもしくは、不当な修理や改造による故障および損傷
  - ③ 火災、地震、水害、その他天災、指定外の消耗品使用などによる故障および損傷
  - ④ 故意・または過失による損傷
  - ⑤ 本書のご提示がない場合
4. 消耗品は保証対象外となります。
5. 本製品の故障に起因する付随的損害については責任を負いかねます。
6. 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
7. 保証に関して不明点がありましたら、弊社サービス課までお問い合わせください。

## グローエジャパン株式会社

本 社 〒107-0061 東京都港区北青山 2-11-3  
A-PLACE 青山 6 階  
TEL 03-5775-7500 FAX 03-5775-7611

大阪営業所 〒541-0057 大阪市中央区北久宝寺町 4-3-5  
本町サミットビル 3 階  
TEL 06-4708-6340 FAX 06-4708-6485

グローエブルー専用サイト

<http://japan-grohe.com/groheblue>

● ページ右上の「ユーザー登録」よりお申し込みください。